

都立競技施設における アクセシビリティ・ワークショップ（第5回）

主な意見

日時 平成29年8月28日（月）

13:00～16:00

会場 東京体育館（渋谷区千駄ヶ谷1丁目17-1）

1 内容

○ 東京体育館における現地視察

- ・アクセシビリティに配慮が必要な観客が、会場敷地内から観客席へ向かう動線等を視察

2 現地視察における主な意見

- ・トイレの扉やドア鍵が使用中かどうか分かりにくいので、見て分かるようにしてほしい。
- ・トイレは壁・便器・手すりの全てが白くて見にくいいため、色を分けてコントラストを付けた方がよい。
- ・付加アメニティ席（歩行困難者等のための広めの席）は、通路からアクセスしやすい場所に設置してほしい。
- ・階段の段鼻が識別できないので、視認性を向上させるべき。
- ・全体的にサインを大きくし、目的地を見つけやすい位置に掲示すべき。
- ・西側広場に新設するスロープは、もっと幅を広げたほうがよい。
- ・外構新設EV設置箇所にあるスロープ下の階段は、スロープを支える柱やスロープ床板に衝突する危険があるため、衝突防止の対策が必要。
- ・コンコースの照明が暗い。特に段差部は明るくした方がよい。
- ・会場内の丸い柱が見づらいので、壁と異なる色で塗る等、目立ちやすくした方がよい。

- 施設のデッドスペース等構造上の特色を利用して、観客席の近くに、知的障害者や精神障害者等がクールダウンできるスペースを設けてほしい。
- スタッフが支援を必要とする人に積極的に声掛けできるよう、障害者に対する接遇の研修実施が必要である。